



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部(直通)

電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547

住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)

URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール: kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者:地域医療支援部長 細川 貴規



全身疾患の中の腎臓病

腎臓内科部長 細川 貴規

腎臓疾患は、生活習慣病や他の疾患、薬剤使用等で影響を受ける全身疾患の中の臓器疾患である事が多くなってきました。

様々な疾患や薬剤が腎臓に障害(急性・慢性の腎臓病)を来たします。

腎臓疾患を診る場合、他の内科疾患同様に、一般疾患から遺伝疾患や感染症等、総合内科の目で診て診察する必要がありますし、各科の先生方や高次医療機関、時として国の研究機関との連携も必要でした。

例えば、高血圧や糖尿病、肥満や膠原病等では、眼や皮膚など各臓器障害と共に腎障害が進行しますし、急速な障害、例えば、上天草総合病院でも和田副院長が中心となって、治療等を行っている、マダニ媒介感染症の日本紅斑熱やSFTSも然りです。

高知の勤務時代の2011年に、発熱・尿所見が見られたため、他の内科医から紹介された症例が、劇症の経過を辿りましたが、当時は病名不明の症例がありました。

2012年に国内第1例目のSFTS症例が発見されると、翌年の2013年に国立感染症研究所ウイルス第一部から、他に類似症例が居ないかを、全国全ての医師宛てに向けて、報告依頼がありました。

(2013年1月30日の厚生労働省健康局結核感染症課長通知)

上記の2011年に経験していた、病名不明の症例・検査所見が、全国調査に酷似している事に気づき、

国立感染症研究所・ウイルス第一部に報告しました。その全国調査に気づき、国立感染症研究所に報告した全国8人の臨床医の先生方と、国立感染症研究所の西條政幸先生達との共同執筆で国内初の症例報告に掲載(「国内で確認された重症熱性血小板減少症候群(SFTS)患者8名の概要」)、また2013年11月には、日本初のSFTS論文が世界に著明な学術誌に掲載されると、全国的にSFTSが次第に認知されてきました。

(論文は、Hosokawa Takanori SFTSで検索してみてください)

この様に、尿検査から紹介された、未知の疾患が、新規疾患と診断される事もあります。

様々な腎臓疾患が、早期発見につながる検診項目は、尿検査(特に尿タンパク)と、GFRになります。どちらも、一般的な検診にも有る項目でありながら、なかなか早期に腎臓内科への紹介まで至らない事が、全国の腎臓内科医が抱える悩みとなっています。

また、人口10万人当たりの透析導入患者数が、常に全国1位・2位である事も、熊本県の課題にもなっています。

日々の診療での尿異常や、健診異常などがありましたら、当院腎臓内科に、お気軽に御紹介下さい。

ただし、当院では腎生検は、次の2つの理由から行っておらず、病理検査部のある病院に紹介しています。

1.腎生検で重要な蛍光抗体法を行う為には、生検組織を固定せず、速やかに凍結切片作成まで行える病理検査部が必要です。

理由は、一般的なホルムアルデヒド系の固定後の染色は、固定により抗原の変性が起こりやすくなり、生組織の凍結切片での抗原抗体反応と比較して劣る事。

2.腎生検後に、まれにみられる大出血時に、緊急腎摘出術を含む当院での緊急手術が出来ない事。

上記2点から、当院では腎生検は行っておらず、家族歴や病歴の問診、種々の検査から腎疾患を推察し、その診断に腎生検が必要と考えれば、腎生検に適した時期に、該当病院に紹介しています。

また、推察される腎疾患・病理像で、電子顕微鏡（TEM）が必要と考えた際には、その旨を記して紹介をしています。

先に書きました様に、腎臓病は全身性の遺伝性疾患の事も有り、家族歴も重要で、掛かり付けの先生方との連携も重要です。

例えば、家族歴・難聴・高い声等から、遅発性のMELAS家系発見に結び付いた例や、家族性の脂質異常から四国初のリポタンパク系球体症（Lipoprotein Glomerulopathy : LPG）の診断に至った事もあります。

腎臓病は、糖尿病・高血圧・肥満・膠原病・肝疾患・遺伝病・感染症等々、あらゆる全身疾患の影響が及ぶ臓器で、尿タンパク陽性等に気が付いて紹介して下さる医師・医療機関との連携・協力が必要な疾患です。

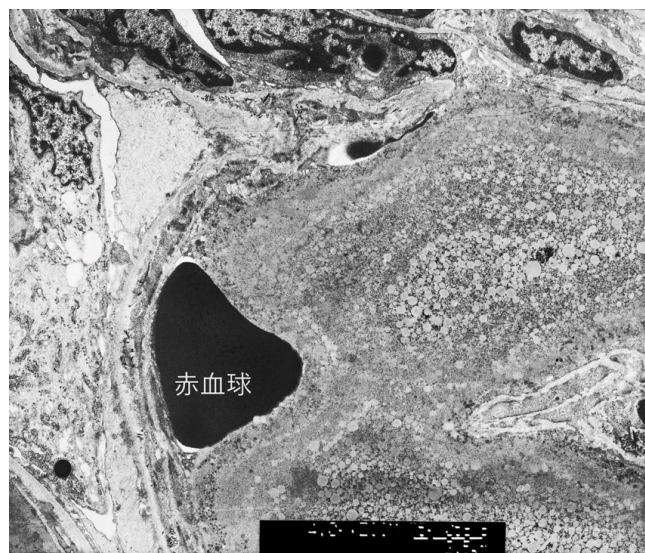
熊本県は、ほぼ毎年、人口10万人あたりの透析導入患者数が、全国で1位か2位と突出しています。それを早期発見し、透析になる患者数を下げて行くのが、本県の課題となっています。

まずは早期発見のため、検診で尿タンパクやGFR低下が在りましたら、お気軽に御紹介下されば、有りがたく存じます。

そろそろ春の検診の時期となりますので、重ねてお願い致します。

私は写真や鉱物収集など多趣味で、望遠鏡を担ぎ出し、天体観測・観望もしますが、光年単位の観測より、それ以上に楽しく時間を忘れて没頭したのが、電子顕微鏡でのnm単位の世界です。

腎生検の電顕に限らず、各種実験での組織（培養細胞も含み）採取後、グルタルアルデヒドで固定し、脱水・エポソ包埋、トリミング、ダイヤモンドナイフでの厚さ約70nmの超薄切片作成、グリッドに載せてウラン・鉛染色をし、透過型電子顕微鏡（TEM・写真の機械）での観察・病変部位の写真撮影（当時はフィルム乾板）現像・印画紙への焼き付け、一連をしていると時間を忘れ・食事を忘れる事が多く、趣味と実益を兼ねていました。



①カラー写真は、高知で使っていた、透過型電子顕微鏡（TEM）の写真です。顕微鏡の高さは、約2.5mで、銀色円筒横の黒い部分に資料を差し込み、内部を真空にした後、電子線を当て、白い蛍光板に拡大された像を双眼鏡で観察します。

②白黒写真は、電子顕微鏡写真（上のLPG症例）です。腎臓の血管内は、ほぼ脂肪（赤血球の隣）が充満している様子です。

卒業に向けて

上天草看護専門学校

45期生 直江 真子

私たち45期生は3月4日をもって上天草看護専門学校を卒業します。入学から卒業まであっという間の3年間だったように感じます。新型コロナウイルスの影響で講義や実習が思うようにいかない時や、課題や記録、学習に追われ寝れない日や辛い日もありました。そんな時は同期や実習のチームメンバーと支え合い、励まし合いながら乗り越えてきました。みんな、本当によく頑張った！

また、実習等で多くの学びの機会を与えてくださった先生方、各病院・各施設のスタッフの方々のおかげで、私たちは医療従事者としての責任を持ち、看護師としての知識や技術・姿勢など多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。

実習が終わると、本格的に国家試験の勉強に取り組みました。問題集や参考書を常に持ち歩き、奮闘する日々が続きました。国家試験が近づくにつれ、不安や焦りが大きくなっていましたが、先生方の心強いサポートに支えられながら当日を迎えました。

当日は緊張で押しつぶされそうになりながら、自分の持っている力を最大限発揮できたと思います。合格発表の日までドキドキしますが、笑顔でその日を迎えることができるといいなと思います。



卒業後は、看護師として働く人、進学する人などそれぞれの将来に向かって進んでいきます。これまで関わった患者様・ご家族、スタッフの方々、先生方から教えていただいたことを胸に頑張っていきます。3年間ありがとうございました。



研修会・勉強会の行事予定表

3月8日(金)	(学研・基礎研修) ナースコールにも慌てない！ チームで多重課題に立ち向かえ	15:00～ 当院6階講堂
3月13日(水)	糖尿病教室 糖尿病薬の種類について	14:00～ 当院6階講堂
3月15日(金)	心臓リハビリテーション教室 開催は中止します	
3月22日(金)	がんサロン 事前にお問い合わせください	13:30～ 当院6階講堂

編集後記

○今年の冬は、気象庁の長期予報通りに、暖冬になりましたね。全国のニュースで、稚内の犬ぞり大会が、雪不足で中止となったと伝えられていましたが、温暖化が懸念され、上天草の海での赤潮被害も心配になっています。病院の近辺では、梅も咲き、次第に春めいてきました。次号は新年度号となり外来の変更点もあります。引き続き、よろしくお願い致します。写真は、厳冬期、北海道の完全結氷した湖上での、犬ぞり体験の様子です。(細川)



3月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科	和田 正文 中原 大智 浦川 朋也	岸川 秀樹 和田 正文 中村 太造 堤 龍子	中原 大智 浦川 朋也 中村 太造	和田 正文 細川 貴規 中原 大智 ※高柳 宏史	細川 貴規 堤 龍子 浦川 朋也	
代謝内科	※阪口 雅司	—	—	岸川 秀樹	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
腎臓内科	—	—	細川 貴規	—	—	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	—	※山本 正啓	脇田 富雄	3/1(金) 3/22(金)
外科	高塚 二郎	—	高塚 二郎	—	—	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	3/25(月)
婦人科	坂口 優子	—	坂口 優子	—	—	
※診療時間は9時から13時30分となります。(受付時間は8時30分～13時まで)						
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一 村上 直也 (午後・予約制)	藤松 晃一	※東 宗一郎	
※毎週火曜日・金曜日の診療開始は10時50分からとなります。 ※毎週水曜日の村上医師の診療は午後、予約制となります。						
耳鼻咽喉科	—	※熊大	—	※熊大	※熊大	
眼科	栗井 麻衣子	竹下 哲二 古島 京佳	古島 京佳	竹下 哲二	古島 京佳	
皮膚科	—	—	—	江頭 翔	—	
泌尿器科	—	西 一彦	—	—	西 一彦	3/19(火)
※3月の金曜日の診療は完全予約制となります。						
超音波・ 内視鏡センター	石山 哲	石山 哲	※大野 健翔	高塚 二郎	※蔵野 宗太郎	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、13時～16時30分までの受付です。						
教良木診療所 (午後)	中原 大智	—	応援	応援	浦川 朋也	
御所浦診療所 (午前)	竹下 哲二	—	—	—	—	
栖本病院 (午前)	—	—	堤 龍子	—	—	

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。